

9月30日 記者発表  
発表をもって解禁

平成26年9月30日  
北陸地方整備局  
北陸信越運輸局

## 着実に前進!

### 『暮らしやすさ日本一』『環日本海交流の中核拠点』の北陸圏へ

～計画策定から5年 北陸圏広域地方計画の中間評価を行いました～



北陸圏広域地方計画協議会（会長：北陸経済連合会 永原功会長）では、平成21年度に今後概ね10年間の北陸圏の姿をまとめた**北陸圏広域地方計画**※注（北陸圏が目指す2つ将来像、将来像を実現するための4つの目標、重点的に取り組む9つの広域連携プロジェクトを定めた計画）について、実行性を高め、その着実な推進を図るため、毎年度、広域連携プロジェクトの推進状況を検証しています。

また、**計画策定から5年が経過したため**、平成25年度の推進状況の取りまとめに併せて、北陸圏の将来像を実現するための**4つの目標に対する達成状況を評価・検証をした『中間評価』**を取りまとめたので、お知らせします。

※注 詳しくは6ページ（参考1）を参照

## <中間評価の結果（概要）>

- 4つの目標は、いずれも良い方向に着実に進んでおり、北陸圏が目指す『**暮らしやすさ日本一**』『**環日本海交流の中核拠点**』が**着実に前進**していると評価できる。
- 北陸圏の更なる発展に向けて、各種取組みを継続します。

### ◆北陸圏の主な広域連携の取組み

- **北陸新幹線の開業を平成27年3月14日に控え**、北陸地域の活性化に向けた期待感と機運が高まり、関係者が一体となって**様々なプロモーション活動やまちづくりを推進**した。
- エネルギー・環境分野の取組みや国際競争力の強化により、有効求人倍率が**全圏域で1位**、外貿コンテナ取扱数の増加など、**地域産業の活性化が進んだ**。



新幹線対応型バスシステム

※各目標の達成状況と評価の詳細は、別添およびホームページで公表しています。

#### 【同時記者発表】

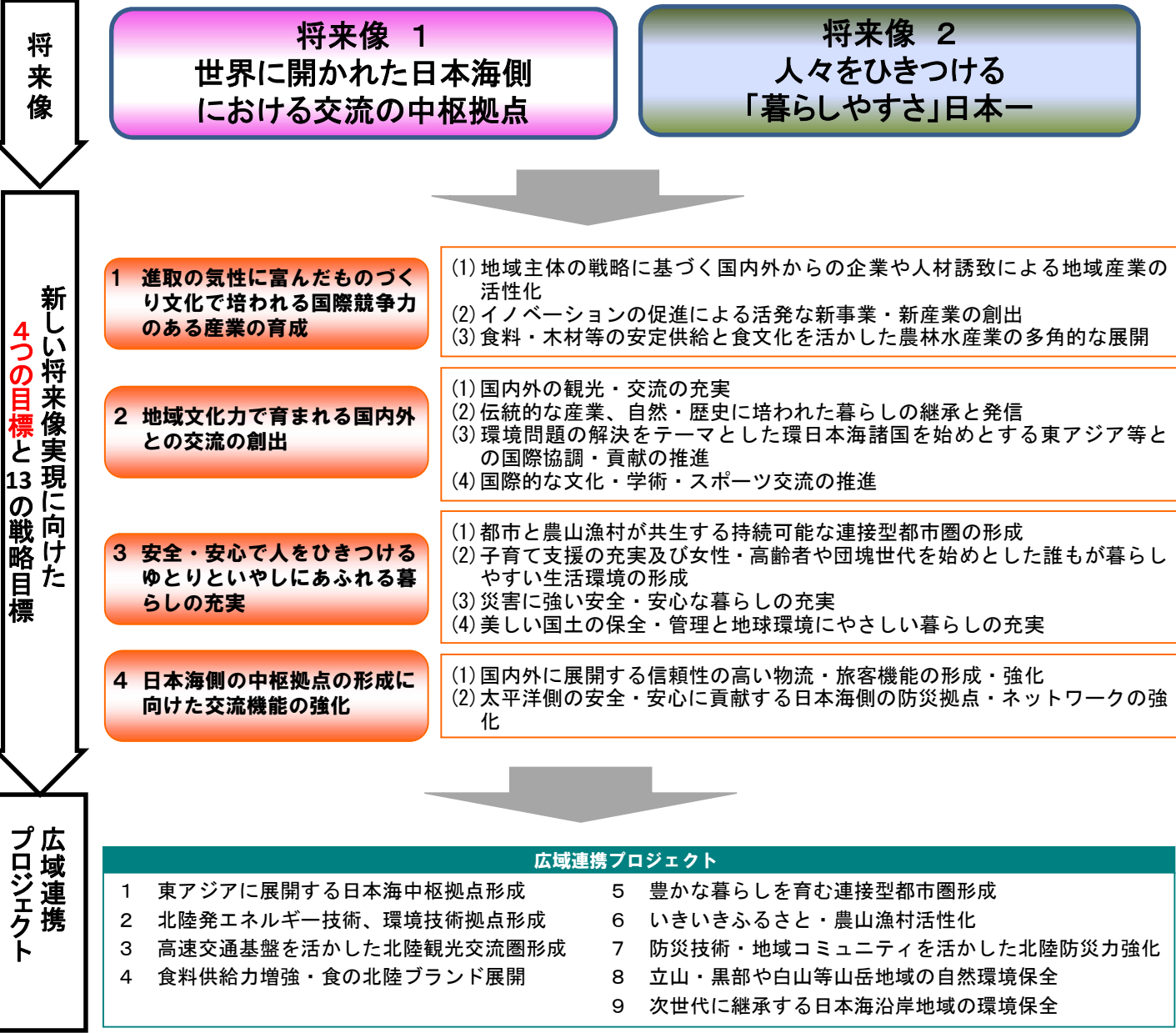
新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ  
富山県政記者クラブ  
石川県政記者クラブ  
福井県政記者クラブ  
その他専門紙

#### 【問い合わせ先】

北陸圏広域地方計画協議会事務局  
（北陸圏広域地方計画推進室）  
北陸地方整備局  
企画部 広域計画課長 舘（内線3211）  
建設部 計画・建設産業課長 山口（内線6121）  
TEL：025-280-8880（代表）

# 北陸圏広域地方計画の構成

～北陸圏が目指す2つ将来像、将来像を実現するための**4つの目標**、重点的に取り組む9つの広域連携プロジェクト～



※4つの目標と、9つのプロジェクトの達成状況の詳細は、別添-2の9ページから26ページをご覧ください。

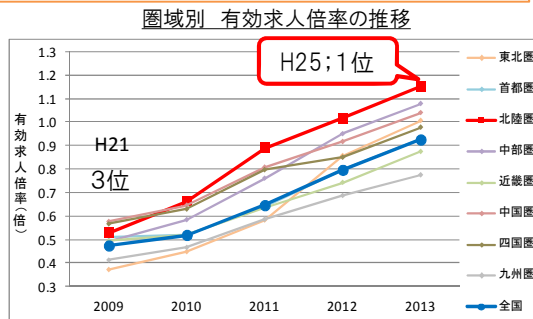
# 目標1 進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成

【達成状況、評価・検証】

- 域内総生産(名目)は、横這い状態にある
- 有効求人倍率は、全圏域で最も高い

(主なモニタリング指標)

- 域内総生産(名目)は横這い  
 H21 117千億円(全圏域8位)  
 ⇒H23 119千億円(全圏域 **8位**)
- 有効求人倍率が全圏域1位に  
 H21 0.53倍(全圏域3位)  
 ⇒H25 1.15倍(全圏域 **1位**)



(取組事例)

- ハトムギの6次産業化(富山県)  
 寄付制度による地域還元を取り入れ販路拡大、200万本/年を売り上げるヒット商品に。
- ほくりく健康創造クラスター(富山県・石川県)  
 地域連携による一貫した事業マネジメント等から、新技術の開発が実現。



はとむぎ茶

# 目標2 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

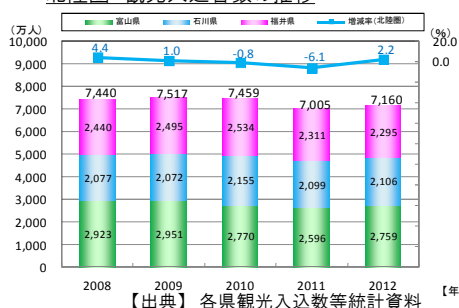
【達成状況、評価・検証】

- 人口1人当たり宿泊者数の割合は、全圏域で最も高く、さらには、外国人宿泊者数が大幅に増加しており、国外との交流は進んでいる
- 一方で、観光入込客数は伸び悩んでいる

(主なモニタリング指標)

- 人口1人当たり宿泊者数が増加  
 H21 3.4人/1人(全圏域 1位)  
 ⇒H25 4.0人/1人(全圏域 **1位**)
- 人口100万人当たり外国人宿泊者数が大幅に増加  
 H21 375百人(全圏域5位)  
 ⇒H23 797百人(全圏域 **4位**)

北陸圏 観光入込客数の推移



(取組事例)

- 昇龍道プロジェクト(北陸・中部)  
 地域一体でのプロモーション活動で外国人宿泊者数が増加。
- 北陸新幹線駅前の整備  
 富山市、高岡市、黒部市、金沢市等において旧駅ビルの解体、駅前広場の整備等に取り組む。
- 北陸新幹線停車駅都市観光推進会議  
 平成27年3月14日の北陸新幹線開業を見据え、他圏域を含む停車駅の所在する10都市の交流を深め、観光誘客をはかる取組を実施。
- ダイノソーバレー構想(福井県)  
 福井県立恐竜博物館を中心として周辺が一体化した地域の魅力づくりを実施。



富山駅前広場整備計画(イメージ)



福井県立恐竜博物館

# 目標3 安全・安心で人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

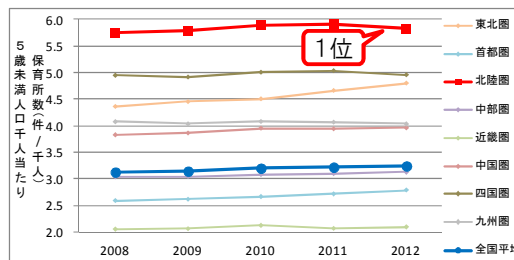
【達成状況、評価・検証】

- 人口(0~4歳)当たり保育所定員数の割合や自然災害による被害総額等の安全・安心に関する指標が全国トップ水準
- 環境の指標となるゴミのリサイクル率は低迷

(主なモニタリング指標)

- 人口(0-4歳)あたり保育所数が増加  
 H20 5.78 施設/千人(全圏域1位)  
 ⇒H24 **5.83** 施設/千人(全圏域 **1位**)
- リサイクル率が増加  
 H20 18.0%(全圏域7位)  
 ⇒H24 **18.3%** 施設/千人(全圏域 **7位**)

圏域別 5歳未満人口千人当たり保育所数の推移



【出典】厚生労働省「保育所関連状況取りまとめ」

(取組事例)

## ○富山型デイサービス(富山県)

事業者への教育や定例会を実施してサービスを熟成させたことにより、事業の拡大や地域共生の先進事例として注目。

## ○大学コンソーシアム石川(石川県)

高等教育機関・自治体・経済団体が連携。広範囲にわたる広報活動、ノウハウの共有を進め、学生による地域貢献活動が普及・促進。注目を集める。

## ○福井クールアース・次世代エネルギー産業化プロジェクト(福井県)

官民40機関が参画し、研究開発や北陸技術交流テクノフェア開催など、次世代エネルギーの普及啓発事業に取り組んでいる。



北陸技術交流テクノフェア2013

# 目標4 日本海側の中核拠点の形成に向けた交流機能の強化

【達成状況、評価・検証】

- 外貨コンテナ取扱個数の大幅な増加等がみられ機能の強化が進んでいるが、物流・旅客の集積規模は、他圏域に比べ低迷

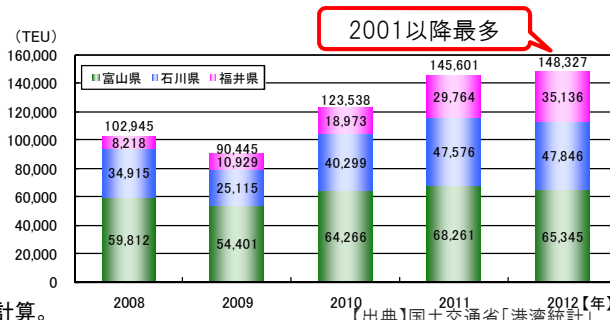
(主なモニタリング指標)

- 外貨コンテナ取扱個数が大幅に増加  
(約64%↑)

H20 102,945 TEU  
 ⇒H24 **148,327** TEU

※TEU :コンテナ取扱個数の単位。長さ20フィートのコンテナ1個を1TEUとして計算。

外貨コンテナ取扱個数



【出典】国土交通省「港湾統計」

(取組事例)

## ○伏木富山港(新湊地区)多目的国際ターミナルの整備(富山県)

ハード対策とソフト対策を連携させた物流活性化対策により新規荷主を獲得。

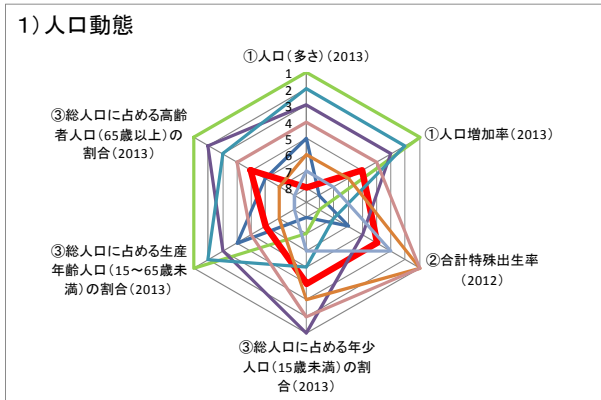


海王丸パーク(伏木富山港)

# (参考資料) 主なモニタリング指標の圏域間の比較 (順位)

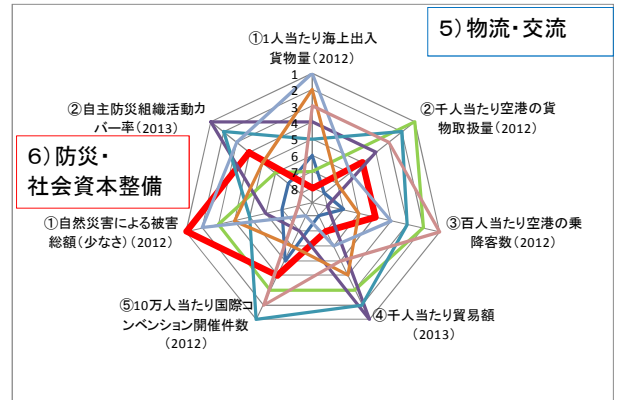
## 1) 人口動態

- ・人口集積が低い水準



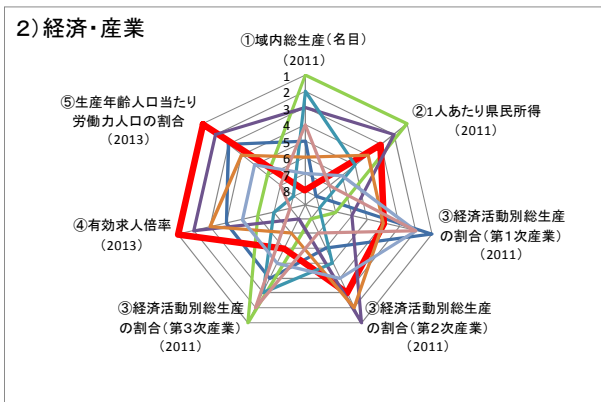
## 5) 物流・交流

- ・海上出入貨物量が少ない
- 6) 防災・社会資本整備
- ・自然災害による被害総額が全国で最も少ない



## 2) 経済・産業

- ・域内総生産(名目)が低い水準
- ・他の指標は総じて高い水準にあり、特に、生産年齢人口当たり労働力人口の割合や有効求人倍率は全国で最も高い

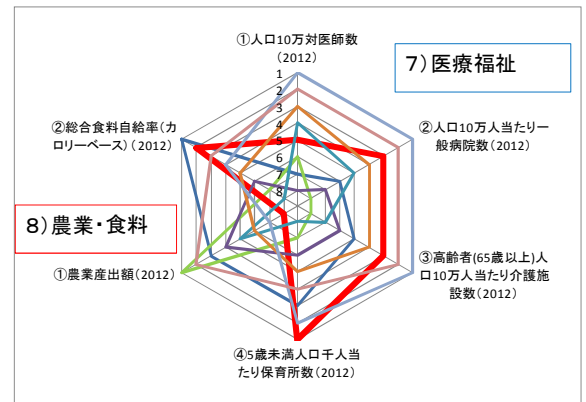


## 7) 医療福祉

- ・総じて高い水準にある中で、特に、5歳未満人口千人当たり保育所数は全国で最も高い

## 8) 農業・食料

- ・総合食料自給率が高い水準
- ・農業算出額が低い水準

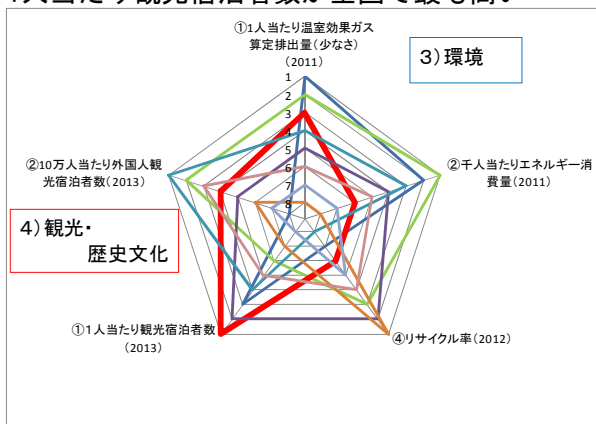


## 3) 環境

- ・1人あたり温室効果ガス算定排出量が比較的少ない

## 4) 観光・歴史文化

- ・1人当たり観光宿泊者数が全国で最も高い



## 凡 例

- 東北圏 — 首都圏 — 北陸圏 — 中部圏
- 近畿圏 — 中国圏 — 四国圏 — 九州圏

## (参考1) 北陸圏広域地方計画とは？

- 北陸圏広域地方計画は、総合的な国土の形成に関する施策を示す「全国計画」と複数の都府県に跨がる広域ブロック毎に国と都府県等が相互に連携・協力して作成する「広域地方計画」の2つの計画から構成される国土形成計画の、北陸圏の「広域地方計画」。
- 平成20年7月に閣議決定された「全国計画」を受けて、北陸圏広域地方計画協議会（会長：北陸経済連合会会長）での協議等を経て、平成21年8月に決定。
- 北陸圏広域地方計画は、北陸圏の発展に向け概ね10年間の基本となる姿を取りまとめた。
- 「広域地方計画」は、北海道と沖縄県を除いた全国を8つの圏域に区分。
- 北陸圏は富山県、石川県、福井県の3県を主体とした圏域として設定。
- 北陸圏広域地方計画協議会は、3県に加え隣接する地方公共団体、地域の経済団体、関係省庁等から構成。

## (参考2) 公表資料一覧

今回公表した資料は、本資料の他に別添1～3の4種類です。これらは全て北陸地方整備局ホームページでも公表しております。

ホームページアドレス

<http://www.hrr.mlit.go.jp/tiiki/kokudo/suishinjoukyou.html>

- 別添1 「平成25年度 北陸圏広域地方計画の推進状況について」
- 別添2 「平成25年度 北陸圏広域地方計画の推進状況について【概要版】」
- 別添3 「広域連携プロジェクト 優良事業 事例集」

北陸圏広域地方計画について、ご意見・ご質問をお寄せください。

北陸地方整備局 北陸圏広域地方計画推進室

E-mail: [hokuriku-localplan@hrr.mlit.go.jp](mailto:hokuriku-localplan@hrr.mlit.go.jp)

TEL(025)280-8880(代表)

